

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」																			
事業名	佐藤太清記念美術館特別展事業																		
担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課																		
予算額	3,173 千円																		
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山市名誉市民で文化勲章受章者である佐藤太清画伯の作品を展示する佐藤太清記念美術館において、市民が文化芸術に親しみ、触れる機会を提供するため特別展を実施。著名な作家の展覧会を開催することにより、市民の文化芸術に対する関心を誘引すると共に、観光来訪者等による来館者増を図る。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>「立原えりかのグリム童話絵本展」や「安野光雅展」等著名作家の作品展示より市内外から多数の入館者を得た。これら展覧会にあわせてギャラリートークやワークショップを開催した。</p>																			
決算額	<table border="0"> <tr> <td>旅費</td> <td>226,560 円</td> <td>(講師旅費、担当者旅費)</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>517,282 円</td> <td>(消耗品、チラシ等印刷)</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>222,434 円</td> <td>(郵送料、手数料)</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,027,268 円</td> <td>(作品借用展示業務、美術運送)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>1,116,500 円</td> <td>(作品借用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計 3,110,044 円</td> </tr> </table>	旅費	226,560 円	(講師旅費、担当者旅費)	需用費	517,282 円	(消耗品、チラシ等印刷)	役務費	222,434 円	(郵送料、手数料)	委託料	1,027,268 円	(作品借用展示業務、美術運送)	使用料及び賃借料	1,116,500 円	(作品借用)			計 3,110,044 円
旅費	226,560 円	(講師旅費、担当者旅費)																	
需用費	517,282 円	(消耗品、チラシ等印刷)																	
役務費	222,434 円	(郵送料、手数料)																	
委託料	1,027,268 円	(作品借用展示業務、美術運送)																	
使用料及び賃借料	1,116,500 円	(作品借用)																	
		計 3,110,044 円																	
K P I	<p>(目標) 観光消費額 2,038,500 千円 ⇒ (結果) 1,936,377 千円</p> <p>(目標) 中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒ (結果) 4,066 人</p> <p>(目標) テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒ (結果) 8 店</p>																		
<p>3 事業の成果</p> <p>親しみやすく魅力ある作品の展示にあわせ、ワークショップ等の市民参加型の体験会を開催することで、身近に文化芸術に触れる機会の提供が行えた。</p> <p>4 課題</p> <p>見たい展覧会、参加したいワークショップ等、市民ニーズに合致した企画運営を図り施設を有効的に活用する。図書館、学校等関連事業とともに連携して入館者増につながる魅力ある特別展・展示等の内容が必要である。</p> <p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>引き続き魅力ある展示内容、芸術性あふれる作品展を開催し、福知山市の文化振興を進める。佐藤太清賞公募美術展、企画展示品等充実事業と連携して美術館運営を図る。</p>																			
担当課による評価	B (相当程度効果があった)																		
評価をつけた理由	特別展開催による成果は相当程度あったと感じているが、昨年度より実績数 (入館者数) が減少したため。																		

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」	
事業名	商店街等振興事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	2,010 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>商店街は経営者の高齢化や後継者の不在などに起因した空き店舗の増加や、来街者の減少により賑わいが失われ活力の低下を招いている。地域商業全体を底上げするための賑わい創出の取り組みが求められている背景を踏まえ、意欲的に商店街振興事業に取り組む商店街等に対して補助金を交付することにより、商店街や周辺地域の活性化を図る。</p>	
<p>2 事業の内容</p> <p>商店街等のイメージアップを図り、その活性化を促進するため、福知山市商店街等イベント事業補助金交付要領に基づき、商店街や商業者グループが行うイベント事業に対して補助金を交付する。1回の事業につき 20 万円を限度に補助。(補助率 1/2 以内)</p> <p>地域の女性グループ等が企画・立案し、商工団体が連携して実施する活性化事業に対して、頑張る女性等応援事業補助金交付要領により 1回の事業につき 10 万円を限度に補助。(補助率 6/10 以内)</p>	
決算額	補助金 1,296,000 円 (内訳: イベント事業 1,256,000 円、頑張る女性 40,000 円) <div style="text-align: right;">計 1,296,000 円</div>
K P I	(目標) 観光消費額 2,038,500 千円 ⇒ (結果) 1,936,377 千円 (目標) 中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒ (結果) 4,066 人 (目標) テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒ (結果) 8 店
<p>3 事業の成果</p> <p>商店街等の活性化に取り組む事業を支援することにより、市内に賑わいを創出することができた。</p> <p>H29 年度実績 17 件 (内イベント補助金 16 件、頑張る女性応援補助金 1 件)</p>	
<p>4 課題</p> <p>商店街等の空き店舗への出店の促進と各個店の売上げ向上につながる取組みになっていくことが必要。</p>	
<p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>引き続き、商店街等の活動を支援することで、市内に賑わいを創出し、活気あるまちを創造する。なお、頑張る女性グループへの支援は平成 29 年度をもって終了した。</p>	
担当課による評価	C (効果があった)
評価をつけた理由	本施策を利用した事業において一定集客があったため。

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」	
事業名	福知山城憩いの広場（ゆらのガーデン）管理事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	4,484 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山城憩いの広場「ゆらのガーデン」を、テナントの出店者協議会や市民参加のガーデニングサークルと連携を図りながら中心市街地への回遊の拠点として、また、街のシンボルとなる“四季の彩に満ちた和み空間”として維持管理することにより、市民や来街者が憩える場を提供し、関連事業との連携により、まちなかへ誘導していくことで、活性化につなげる。</p>	
<p>2 事業の内容</p> <p>ゆらのガーデンの芝・植栽等の維持管理業務委託や日常的な清掃及び警備の業務委託、ガーデンの四季折々の草花の管理のためにガーデニングサークルに交付金を交付する。</p>	
決算額	需用費 970,592 円（内訳：電気水道、消耗品、修繕費等） 役員費 250,755 円（内訳：電話回線他） 委託料 2,048,202 円（内訳：植栽・芝等維持管理、警備業務、日常清掃業務） 備品購入費 213,840 円（内訳：ゴミストッカー購入） 交付金 500,000 円（内訳：ガーデニングサークル運営） <div style="text-align: right;">計 3,983,389 円</div>
K P I	（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円 （目標）中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒（結果）4,066 人 （目標）テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒（結果）8 店
<p>3 事業の成果</p> <p>福知山市、ガーデニングサークル、福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会が連携し、官民協働で維持管理し、良好な四季の彩と和みの空間づくりに努め、市民や来街者が憩える場を提供することができた。</p>	
<p>4 課題</p> <p>水害等の影響で空いていたテナントも全店舗開業し、集客人数の伸びも期待できることから、今後も維持管理を継続することによって、まちなかの活性化につなげていく必要がある。</p>	
<p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>今後も、ガーデニングサークルや福知山まちづくり株式会社、ゆらのガーデン出店者協議会と連携し、市民と来街者の憩いの場となるよう維持管理に努める。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	官民協働による適切な維持管理が図られたため効果があったと評価した。

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」	
事業名	福知山鉄道ポッポランド運営事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	2,900 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>「鉄道のまち」福知山を広くPRし、市内外からの来街者の誘導を促し、中心市街地活性化を図る。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>福知山鉄道館ポッポランド及びポッポランド2号館の運営並びにポッポランドが行う企画イベントの実施、PRのための他イベントへの参加事業に対して補助金を交付する。また、旧福知山駅周辺のパノラマ模型（鉄道Nゲージ併設）の管理・監視、軽微な修繕、オートレール（パソコンソフトによる自動運転装置）の設定・調整業務を委託している。</p>	
決算額	報償費 130,000 円（内訳：2号館清掃活動、あり方検討委員会謝礼） 旅費 7,340 円（内訳：あり方検討委員会実費弁償） 需用費 68,029 円（内訳：電気水道） 役務費 36,288 円（内訳：看板撤去手数料） 委託料 709,560 円（内訳：パノラマ模型管理業務） 補助金 2,000,000 円（内訳：ポッポランド運営委員会補助金） <p style="text-align: right;">計 2,951,217 円</p>
K P I	（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円 （目標）中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒（結果）4,066 人 （目標）テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒（結果）8 店
<p>3 事業の成果</p> <p>イベントの開催や展示物の紹介により、誘客施設のひとつとして中心市街地活性化に寄与した。平成 25 年度には 1 万人を下回っていた入館者数が、平成 29 年度は 2 万人以上となり、市内外から中心市街地への誘客につながり、中心市街地の活性化に寄与した。</p> <p>4 課題</p> <p>来館者の安全性を考慮し、平成 29 年度末で休館とした本施設の今後のあり方を平成 30 年度以降に検討委員会をもって検討を進める。</p> <p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>平成 30 年度内にあり方の検討を進め、一定の結論を示す。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	入館者数増加により、中心市街地の活性化に寄与したと考えられるため効果があったと評価した

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」	
事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	6,000 千円
1 事業の背景・目的	<p>地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている。このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図る。</p>
2 事業の内容	<p>中心市街地活性化に取り組む福知山駅正面通りの福知山フロント株式会社が、商店街をベースに空き店舗等の利活用を提案することで飲食店やゲストハウス等を開設するとともに、広域的な地域資源の活用によりインバウンド観光等を盛り込んだ新たな観光面での受け皿を構築する。</p>
決算額	<p>補助金 6,000,000 円（内訳：地域資源の活用と交流人口倍増戦略事業補助金）</p> <p style="text-align: right;">計 6,000,000 円</p>
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒（結果）4,066 人</p> <p>（目標）テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒（結果）8 店</p>
3 事業の成果	<p>発信力が高い台湾人ブロガーやユーチューバーによる情報発信促進により、インバウンド需要の掘り起こしを行った。</p> <p>また、テナントミックス推進事業として、新規出店者の募集と比較的集客の少ない夜の時間帯を題材にしたパンフレットの発行等を行い、新規出店者を 4 店舗誘致した。（H29 年度開業：1 件、H30 年度開業予定 3 件）</p>
4 課題	<p>空き店舗等へのテナント誘致の推進とゲストハウス等の宿泊施設へのインバウンド観光と誘客の促進及び魅力ある情報の発信に向け更に取組みを進める必要がある。</p>
5 H30 年度以降の予定	<p>商店街の若手経営者を中心に設立された福知山フロント株式会社によって、一層のテナントミックスの推進と空き地を活用した事業の展開を図り、独自性のあるインバウンド観光戦略を進めるため、引き続き支援する。</p>
担当課による評価	B（相当程度効果があった）
評価をつけた理由	新規出店者の誘致が進んでおり相当程度効果があったと評価した。

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」	
事業名	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	7,835 千円
1 事業の背景・目的	<p>空き家・空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、それらを有効活用し、不動産の流動化を促し、まちなか居住の促進と商業活性化を図る。</p>
2 事業の内容	<p>中心市街地エリアの空き家・空き店舗等の情報を集約し利用希望者に紹介する。</p> <p>平成 28 年度からは、登録業務の運営をまちづくり会社に委託し、不動産オーナーへのヒアリングや説明を行うことで不動産の流動化及び有効活用を推進する。</p> <p>平成 29 年度からは、テナントミックス推進事業補助金を統合し、まちづくり会社及び特定会社が国庫補助金の採択を受けて、実施する空き店舗活用事業に対し、支援を行う。</p>
決算額	<p>委託料 3,487,320 円（内訳：ストックバンク登録業務委託）</p> <p>補助金 2,900,000 円（内訳：空き店舗等対策事業補助金）</p> <p style="text-align: right;">計 6,387,320 円</p>
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒（結果）4,066 人</p> <p>（目標）テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒（結果）8 店</p>
3 事業の成果	<p>中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産の流動化を進めるため、まちづくり株式会社に業務を委託することで、中心市街地の空き家・空き店舗物件を細かに調査・聞き取りが進められ、平成 28 年度から外部出店者の誘致を目的として実施されているイベントの開催（福知山ワンダーマーケット）や空き店舗の見学会も継続しており、更なる不動産流動化が期待できる。</p> <p>平成 29 年度は福知山市中心市街地活性化空き店舗等対策支援事業補助金を活用した新規出店が 3 件あり、中心市街地の活性化に寄与した。</p>
4 課題	<p>登録物件数の増加及び利用希望者の発掘を図るため、宅地建物取引業者との連携を図る必要がある。</p>
5 H30 年度以降の予定	<p>中心市街地でのテナントミックスやまちなか居住を推進するため、今後も継続していきたい。なお、平成 29 年度から「中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業」にテナントミックス推進事業を予算統合した。</p>
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	<p>空き店舗へのテナント誘致が着実に進んでおり、効果があったと評価した。</p>

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」																			
事業名	くの一武道大会開催事業																		
担当課	地域振興部 まちづくり推進課																		
予算額	434 千円																		
<p>1 事業の背景・目的 福知山市市制 60 周年である平成 9 年度から開催しており、本市のランドマークである福知山城を全国に情報発信する。</p> <p>2 事業の内容 全国から女性参加者（くの一）が参加し、福知山城を舞台に競技を行う事業を実施し、TV や新聞等で広く紹介されることで、福知山城を全国に情報発信していく</p>																			
決算額	<table border="0"> <tr> <td>旅費</td> <td>59,040 円</td> <td>（実行委員会打合せのための旅費）</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>41,109 円</td> <td>（バス燃料代、Tシャツ代 他）</td> </tr> <tr> <td>役員費</td> <td>5,423 円</td> <td>（郵送料）</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>43,470 円</td> <td>（バス運転代行、DVD 製作費）</td> </tr> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>300,000 円</td> <td>（実行委員会補助金）</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">計 449,042 円</td> </tr> </table>	旅費	59,040 円	（実行委員会打合せのための旅費）	需用費	41,109 円	（バス燃料代、Tシャツ代 他）	役員費	5,423 円	（郵送料）	委託料	43,470 円	（バス運転代行、DVD 製作費）	負担金補助及び交付金	300,000 円	（実行委員会補助金）	計 449,042 円		
旅費	59,040 円	（実行委員会打合せのための旅費）																	
需用費	41,109 円	（バス燃料代、Tシャツ代 他）																	
役員費	5,423 円	（郵送料）																	
委託料	43,470 円	（バス運転代行、DVD 製作費）																	
負担金補助及び交付金	300,000 円	（実行委員会補助金）																	
計 449,042 円																			
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒（結果）4,066 人</p> <p>（目標）テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒（結果）8 店</p>																		
<p>3 事業の成果 全国からの応募・参加者があり、あわせて観客や応募者等も訪れ、テレビや新聞等の取材もあり、全国放送もされ本市及び福知山城の P R ができた。</p> <p>4 課題 実施主体等についての市としての関わり方の検討が必要である。 福知山城の P R を目的として実施している事業のため、福知山城の管理運営部署や観光部署において、本事業を担当することが望ましい。</p> <p>5 H30 年度以降の予定 事業見直しにより「拡充」となり、平成 30 年度からは、「お城で忍者事業」と名称を変更し、春には「光秀忍たま武道大会」、夏には「くの一武道大会」、秋には「忍者でまちぶら」など年間をとおして福知山城公園周辺で忍者イベントを開催し、さらなる福知山城の情報発信に繋げていく。</p>																			
担当課による評価	A（非常に効果があった）																		
評価をつけた理由	<p>参加者募集に対して、全国各地から 102 人の応募があり、抽選で 60 人のくの一の参加があった。</p> <p>報道社数 8 社のうち、3 社でテレビ報道された。</p>																		

H29 地方創生推進交付金「地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略推進事業」	
事業名	スイーツフェスティバル事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	1,000 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山市内にスイーツ店が多く、かつバラエティに富んでいるという特徴を活かして「スイーツのまち福知山」を発信し、スイーツ観光を促進する。</p>	
<p>2 事業の内容</p> <p>「スイーツフェスティバル実行委員会」への補助金。</p>	
決算額	<p>負担金 1,000,000 円 (スイーツフェスティバル実行委員会への負担金)</p> <p style="text-align: right;">計 1, 0 0 0, 0 0 0 円</p>
K P I	<p>(目標) 観光消費額 2,038,500 千円 ⇒ (結果) 1,936,377 千円</p> <p>(目標) 中心市街地歩行者・自転車通行量 6,532 人 ⇒ (結果) 4,066 人</p> <p>(目標) テナントミックス事業開設店舗数 4 店 ⇒ (結果) 8 店</p>
<p>3 事業の成果</p> <p>「スイーツフェスティバル実行委員会」が、市内外のスイーツ店を一同に集めたスイーツフェスティバルを開催し、スイーツを軸にした本市のPRと観光誘客促進を実施。</p>	
<p>4 課題</p> <p>イベントとして集客性は高まっているが、一過性のものとならない取り組みの検討が必要。</p>	
<p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>引き続き、スイーツフェスティバルを開催する。可能な限り、民間資金で事業を実施できるよう検討を行う。</p>	
担当課による評価	B (相当程度効果があった)
評価をつけた理由	「スイーツまち 福知山」としての知名度が広まってきていることを評価。

H29 地方創生推進交付金「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」	
事業名	海の京都DMO事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	11,815 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都府北部（宮津市・京丹後市・舞鶴市・福知山市・綾部市・伊根町・与謝野町）を「海の京都」と位置付け、全国有数の競争力ある観光圏となることを目的に、一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）を組織・運営。</p>	
<p>2 事業の内容</p> <p>一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）に対する自治体負担金</p>	
決算額	<p>負担金 11,815,000 円</p> <p>[一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）への負担金]</p> <p style="text-align: right;">計 11,815,000 円</p>
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）空き家バンクを活用した移住世帯数 5 世帯 ⇒（結果）6 世帯</p> <p>（目標）高等教育機関等卒業者の圏域内定着者数 24 人 ⇒（結果）33 人</p>
<p>3 事業の成果</p> <p>北部全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開。</p> <p>[H29 主要事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的データ収集・整備・分析 ・ 着地型旅行商品造成 ・インバウンド誘客 ・ 情報発信・プロモーション 等 	
<p>4 課題</p> <p>福知山市としての事業に対する費用対効果の明確化。</p>	
<p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>引き続き、一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）と連携し、観光誘客を図る。</p>	
担当課による評価	B（相当程度効果があった）
評価をつけた理由	海の京都DMOを中心とした広域誘客を図った。

H29 地方創生推進交付金「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」	
事業名	SEA TO SUMMIT 事業
担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課
予算額	783 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>京都府からの提案事業で、中丹管内の自然を活用した競技大会「シー・トゥ・サミット（カヌー・自転車・ハイク）」を中丹地域内の周遊観光を促進するため民間主導の運営で開催。※民間とはアウトドアスポーツ用品メーカーの「㈱モンベル」（本社大阪）</p> <p>2 事業の内容</p> <p>京都府・福知山市・舞鶴市・綾部市の四者が負担金を拠出し事業を実施する。各市の特色を活かし、カヤック、バイク、ハイクを実施 舞鶴（カヤック）⇒大江山グリーンロッジ（自転車）⇒大江山山頂（ハイク）の実施</p>	
決算額	<p>需用費 14,040 円（参加者への粗品）</p> <p>負担金補助及び交付金 748,000 円（実行委員会負担金）</p> <p style="text-align: right;">計 762,040 円</p>
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）空き家バンクを活用した移住世帯数 5 世帯 ⇒（結果）6 世帯</p> <p>（目標）高等教育機関等卒業生の圏域内定着者数 24 人 ⇒（結果）33 人</p>
<p>3 事業の成果</p> <p>参加者には好評であり、参加者数は 110 名前後だが、少なからず福知山市での経済効果もあると思われる。</p> <p>4 課題</p> <p>福知山市でのマルシェの実施や宿泊客の取り込みなど、地元経済に還元できる工夫を京都府や舞鶴市、綾部市の 2 市など主催者側とも調整し、負担金に見合った効果が得られるかが課題となる。</p> <p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>平成 30 年度は、引続き実施の予定。</p> <p>来年度以降については 4 ヶ年実施しており、府においても一定の成果が得られたとしていることから、イベントの廃止を視野に入れて検討を行う。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	京都府が実施した経済波及検証では、本市に 1,037 千円の還元があったこととなっているため。

H29 地方創生推進交付金「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」			
事業名	移住・定住促進事業		
担当課	地域振興部 まちづくり推進課		
予算額	23,071 千円		
1 事業の背景・目的	<p>住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくり。若年層や子育て世代をはじめ、アクティブシニア等、あらゆる世代の交流・地域体感などの機会を提供し、移住・定住人口の増加による地域振興を図ることを目的とする。</p>		
2 事業の内容	<p>(1) 移住希望者、移住者に関する支援・情報発信等（住宅支援金・雇用奨励金・移住促進 Web サイト運営・移住情報誌作成・フェア出展等）</p> <p>(2) 受入地域支援 地域情報誌作成など意識醸成</p> <p>(3) 地域連携都市圏負担金（7 市町協働での情報発信、移住希望者分析など）</p>		
決算額	旅費	移住フェア出展等	310
	需用費・役務費	移住者紹介チラシ、消耗品費、郵送料等	449
	専用HP 保守（委託料）、体験ツアー	移住促進 Web サイト保守管理に係る業務委託料	912
	使用料	レンタルサーバ、移住フェア等出展料	863
	補助金	移住定住促進補助金	13,806
	計 16,340,000 円		
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）空き家バンクを活用した移住世帯数 5 世帯 ⇒（結果）6 世帯</p> <p>（目標）高等教育機関等卒業者の圏域内定着者数 24 人 ⇒（結果）33 人</p>		
3 事業の成果	<p>・移住を検討する方へ本市の魅力を効果的に PR するための情報発信手段を整えることができた。また、移住フェア出展・セミナー開催により、移住希望者が本市への移住を考えるきっかけを作ることができた。移住水準は、H28 年度同等の実績を保つことができた。補助金利用者・お試し住宅入居者に伴走型で支援を行うことができた。</p>		
4 課題	<p>効果的な P R 方法や都市部での移住フェア出展・セミナー開催は、来訪者の状況や相談内容を分析し、出展場所の十分な検討が必要。WEB サイトは、随時更新で鮮度を保ち、「見やすさ」に配慮しながら本市の魅力発信をさらに充実させる必要がある。</p>		
5 H30 年度以降の予定	<p>セミオーダー型体感ツアーを地域協議会等の地域団体と協働で実施することで、受入地域の更なる意識醸成を図るとともに、移住（希望）者と地域を繋げることで、人が人を呼ぶ好循環を生み出していく。</p> <p>・移住促進WEB サイトや情報誌など、常に内容を更新、精査し移住関心層へ必要な情報が届くよう情報発信に努めていく。</p>		
担当課による評価	C（効果があった）		
評価を付けた理由	WEB サイトの年間の閲覧者数は約 1 万 2 千件あり、WAE サイトをみてからの問合せも多い。		

H29 地方創生推進交付金「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」	
事業名	広域連携推進事業
担当課	市長公室 経営戦略課
予算額	2,257 千円
1 事業の背景・目的	<p>近隣市町や京都府、その他府県等との連携により、広域課題等に対し効率的、効果的な施策を展開し、中核市並みのサービスを連携都市圏域内に展開する。</p>
2 事業の内容	<p>○「京都府北部地域連携都市圏」（構成：福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会、幹事会、各部会等を開催し、連携ビジョン等の策定、アクションプランの策定等を行う。 ・連携ビジョンに従い、地方創生交付金を活用しながら各種事業を推進する。
決算額	<p>負担金 2,036,000 円（内訳：連携都市圏への負担金）</p> <p>旅費 41,200 円（内訳：会議参加等）</p> <p style="text-align: right;">計 2,077,200 円</p>
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）空き家バンクを活用した移住世帯数 5 世帯 ⇒（結果）6 世帯</p> <p>（目標）高等教育機関等卒業生の圏域内定着者数 24 人 ⇒（結果）33 人</p>
3 事業の成果	<p>京都府北部地域連携都市圏において、連携都市圏ビジョン（北の京都七つ星プロジェクト）を策定。また、行政サービスシームレス化として北部7市町間での図書館相互利用を平成30年4月より開始した。</p>
4 課題	<p>地方創生交付金が終了するH33以降も、広域連携としてどうそれぞれの市町がどう関わっていくか早い段階で検討していく必要がある。</p>
5 H30年度以降の予定	<p>アクションプランの策定作業については、H30.8に策定済み。今後、アクションプランに基づき、観光・産業・移住定住・教育・行政サービス・エネルギー・公共交通ネットワーク分野において、事業を推進していく。</p>
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	<p>連携ビジョンの策定や図書館相互利用の開始等、連携推進において一定の効果があったと評価した。</p>

No.15

H29 地方創生推進交付金「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」	
事業名	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業
担当課	市長公室 大学政策課
予算額	20,000 千円
1 事業の背景・目的	<p>福知山公立大学が北近畿地域における様々な課題解決に向けたシンクタンク機能を発揮するとともに、市民の「知の拠点」の役割を果たすことを目的として、地域連携・地域協働を推進するための取組を支援する。</p>
2 事業の内容	<p>福知山公立大学北近畿地域連携センターが、北近畿地域の自治体や企業等との連携・協働の活動拠点として魅力ある施設となるように、魅力向上に向けた施設改修や地域貢献事業等に係る取組を支援する。</p>
決算額	<p>交付金 20,000,000 円</p> <p style="text-align: right;">計 20,000,000 円</p>
K P I	<p>(目標) 観光消費額 2,038,500 千円 ⇒ (結果) 1,936,377 千円</p> <p>(目標) 空き家バンクを活用した移住世帯数 5 世帯 ⇒ (結果) 6 世帯</p> <p>(目標) 高等教育機関等卒業生の圏域内定着者数 24 人 ⇒ (結果) 33 人</p>
3 事業の成果	<p>○北近畿地域連携センター改修工事（第2期）を完了し、竣工することができた。</p> <p>○地域創生セミナー、井口学長塾といった市民講座など、京都府北部地域において様々な地域連携事業を実施することを通じて、福知山公立大学の地域連携に関する取組を情報発信するとともに、北近畿地域の行政機関、教育機関、企業、各種団体等とのネットワークを形成することができた。</p> <p>○北近畿地域における高等教育機関、民間組織・団体等の約 50 団体で構成する「北近畿地域連携会議」を設立することができた。</p>
4 課題	<p>地方創生推進交付金が終了する平成33年度以降についても地域連携活動を継続できるように外部資金の獲得に向けて積極的に取り組む必要がある。</p>
5 H30 年度以降の予定	<p>地域連携拠点である北近畿地域連携センターの情報を大学ホームページや情報誌等を活用して積極的に発信し、地域住民並びに北近畿地域の企業、行政、各種団体等による利用を促進するとともに、京都府北部を対象とした地域連携事業の積極的な展開、さらには各種イベントの全国発信を継続的に実施することで、北近畿地域はもとより全国に福知山公立大学の存在感を高めていく。</p>
担当課による評価	B（相当程度効果があった）
評価をつけた理由	<p>「北近畿地域連携会議」を設立し、民間主導による北近畿地域の地域再生に向けて調査研究・政策提言を行う産学連携組織を構築したことや卒業生 23 人中 6 人が北近畿地域への就職に至ったことなどにより、相当程度効果があったと評価した。</p>

No.16

H29 地方創生推進交付金「京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業」	
事業名	農商ビジネスフェア開催負担金
担当課	産業政策室 産業観光課
予算額	119 千円
1 事業の背景・目的	<p>新商品開発や販路開拓に取り組む京都北部 5 市 2 町の農林漁業者、食品製造事業者等がこの農商ビジネスフェアを通じて新たな農業ビジネスを創出することを目指す。</p>
2 事業の内容	<p>与謝野町内で 7 市町圏域内での域内消費を目指した商談会を 3 回実施し、7 市町の生産者と事業者とのマッチング、情報共有、専門家からのアドバイス等を行う。また、京都市内の商談会に向け専門家による販路拡大、商品化、情報発信に関するアドバイスを生産者に行い、京都市内の事業者との商談会を実施する。</p>
決算額	<p>負担金 118,000 円（京都府北部地域都市圏農商ビジネスフェア負担金）</p> <p style="text-align: right;">計 118,000 円</p>
K P I	<p>（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円</p> <p>（目標）空き家バンクを活用した移住世帯数 5 世帯 ⇒（結果）6 世帯</p> <p>（目標）高等教育機関等卒業者の圏域内定着者数 24 人 ⇒（結果）33 人</p>
3 事業の成果	<p>農商ビジネスフェアを通じて、新たな取引先の獲得や、専門家によるアドバイスによる新商品の開発等につながった。</p>
4 課題	<p>販路開拓や新商品開発に積極的な事業者の発掘が必要。</p>
5 H30 年度以降の予定	<p>平成 29 年度の事業内容を更にブラッシュアップさせ、継続して事業を実施する。</p>
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	<p>参加者から販路開拓や新商品開発に結びついたという報告を受けているため。</p>

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業
担当課	市長公室 大学政策課
予算額	2,700 千円
1 事業の背景・目的	<p>福知山公立大学が北近畿地域における様々な課題解決に向けたシンクタンク機能を発揮するとともに、市民の「知の拠点」の役割を果たすことを目的として、地域連携・地域協働を推進するための取組を支援する。</p>
2 事業の内容	<p>《北近畿地域データバンク事業》 北近畿地域の企業情報や地域資源情報を、企業、自治体、地域住民等と連携して収集のうえデータベース化し、誰もが活用できる情報として整理する。</p> <p>《兵庫県北部地域連携推進事業》 丹波市、朝来市が希望するテーマにより福知山公立大学開学記念連続講演会を開催する。</p> <p>《まちかどキャンパス運営事業》 丹波市、朝来市で大学講義等を実施する「まちかどキャンパス」事業を支援する。</p>
決算額	交付金 2,700,000 円 計 2,700,000 円
K P I	<p>(目標) 圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒ (結果) 887,697 千円</p> <p>(目標) 移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒ (結果) 43 人</p> <p>(目標) 人口社会増 -120 人 ⇒ (結果) -213 人</p> <p>(目標) 企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒ (結果) 8 人</p>
3 事業の成果	<p>○北近畿地域の企業情報データ等を収集し、大学図書館において利用者がいつでもネットで閲覧できる環境を整えた。</p> <p>○福知山公立大学開学記念連続講演会に延 276 人（丹波市 76 人、朝来市 200 人）の参加者があった。</p> <p>○丹波市、朝来市において研修会を開催し、地域課題の解決に向けた意見交換を行うことにより、福知山公立大学の存在感をアピールすることができた。</p>
4 課題	<p>地方創生推進交付金が終了する平成33年度以降についても地域連携活動を継続できるように外部資金の獲得に向けて積極的に取り組む必要がある。</p>
5 H30 年度以降の予定	<p>北近畿地域データバンク事業、兵庫県北部地域連携推進事業、まちかどキャンパス事業を継続して実施し、丹波市、朝来市における教育研究の拠点、市民学習の拠点、地域交流拠点づくりを推進する。</p>
担当課による評価	C (効果があった)
評価をつけた理由	<p>福知山公立大学が中核となり、府県を越えた産学官連携及び地域人材育成に向けた基盤づくりを行うことができたため。</p>

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	「未来の力祭典」事業
担当課	地域振興部 まちづくり推進課
予算額	9,243 千円
1 事業の背景・目的	<p>福知山市市制施行 80 周年及び福知山市市民憲章推進協議会設立 25 周年を記念し、市内高校生及び大学生並びに地域と連携を持ちながら記念事業を実施することで、次世代を担う若者たちの可能性を引き出し、郷土愛を育むとともに市民協働によるまちづくりを推進する。</p>
2 事業の内容	<p>主体となって「未来の力祭典」に取り組む福知山市市民憲章協議会への交付金 (喜多郎記念コンサート、舞台発表、肉カレーフェスティバル、展示発表)</p>
決算額	<p>旅費 41,280 円 (打ち合わせのための旅費) 負担金補助及び交付金 9,200,000 円 (市民憲章推進協議会への交付金) 9,241,280 円</p>
K P I	<p>(目標) 圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒ (結果) 887,697 千円 (目標) 移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒ (結果) 43 人 (目標) 人口社会増 -120 人 ⇒ (結果) -213 人 (目標) 企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒ (結果) 8 人</p>
3 事業の成果	<p>地域伝統行催事や和太鼓、歌、ダンスなど次代を担う子どもたちによる多様なステージ発表となり、来場者も一緒になって楽しむことができた。出演後も、市民憲章啓発ブースでの花苗プレゼンに積極的に協力していただき、次代を担う子どもたちと共に市民憲章運動「花いっぱい運動」を推進していただいた。</p> <p>当日限りのオリジナルカレーである「三段池カレー」を求めて、老若男女問わず多くの方が会場を訪れ、食べていただき、満足していただくことが出来た。肉カレーフェスティバルとして、ブースごとに使われている肉の種類が異なり、「肉のまちふくちやま」を PR することができた。</p> <p>高校生及び大学生に体験型ブースの出展をいただき、来場された方と交流されながら会場を盛り上げていただいた。</p> <p>募集座席 700 席に対して、募集定数を大幅に超える応募 (市内 1320 席、市外 147 席) があつた。当日は関係者を含めて、約 900 人が鑑賞した。コンサートでは喜太郎さんと淑徳和太鼓、子ども太鼓「疾風」との共演もあり、また最後には来場者参加型の「千人太鼓」も行われ、誰もが幸せを感じられるコンサートとなった。</p>
4 課題	市民憲章の市民への周知と啓発方法
5 H30 年度以降の予定	記念事業のためなし
担当課による評価	C (効果があつた)
評価をつけた理由	幅広い世代の市民等、約 3,000 人が参加し、企画から運営まで市民協働による記念事業を開催することが出来た。

No.19

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	観光地域づくりセンター（仮称）設置運営事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	13,603 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>本市にある過疎化や高齢化等により活力を失いつつある地域の地域資源と経営感覚のある事業者を繋いで、観光を切り口としながら持続可能な観光地域づくりを進める。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>民間の専門的な視点やノウハウを有した戦略マネージャー及び地域づくり担当を外部委託し、地域関係者や事業者を交え伴走型により事業展開する。</p>	
決算額	報償費 10,000 円 旅費 28,800 円 需要費 372,418 円 役務費 894 円 委託料 12,598,200 円 <p style="text-align: right;">計 13,010,312 円</p>
K P I	（目標）圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒（結果）887,697 千円 （目標）移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒（結果）43 人 （目標）人口社会増 -120 人 ⇒（結果）-213 人 （目標）企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒（結果）8 人
<p>3 事業の成果</p> <p>事業着手箇所の選定と関係者間の調整を実施し、3 地区で事業着手。</p> <p>4 課題</p> <p>一部の関係者や住民だけの取り組みではなく、地域に関係する事業者を幅広く巻き込み、地域全体での取り組みとする必要がある。</p> <p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>引き続き、事業を継続。公立大学等と連携した分科会など、戦略会議のあり方は調整を行う。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	目標とした3地区の事業着手は行った。

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」			
事業名	次世代交流ワークショップ事業		
担当課	地域振興部 まちづくり推進課		
予算額	2,134 千円		
1	<p>事業の背景・目的</p> <p>高校生などの若者を中心とする市民が福知山市のまちづくりや未来について意見を交わす場を創出し、若者のまちづくり意識の向上や意見の抽出、郷土愛の醸成を図るとともに、にぎわいと活気のある福知山の新時代を切り拓く人材の育成をめざす。</p>		
2	<p>事業の内容</p> <p>市内の高等学校と連携し、地域人材の派遣などによる若者の人材育成を行う「高校生フューチャーセッション」を開催し、福知山の将来を語るワークショップを開催する。</p> <p>また、無作為抽出等により募集・選出した高校生・大学生を中心とした市民がグループ討議により福知山の未来やまちづくりに関する多様な議題について深く討論する。</p>		
決算額	報償費	講師謝礼等	163,000
	需用費	ワークショップ消耗品等	57,283
	役務費	郵送料等	231,231
	委託料	運営業務委託、封入封緘業務	1,290,600
	計		
K P I	<p>(目標) 圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒ (結果) 887,697 千円</p> <p>(目標) 移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒ (結果) 43 人</p> <p>(目標) 人口社会増 -120 人 ⇒ (結果) -213 人</p> <p>(目標) 企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒ (結果) 8 人</p>		
3	<p>事業の成果</p> <p>高校生や大学生などの若者を中心とした市民が、まちづくりに関する共通のテーマで話し合い、学びあうことのできる場作りと、郷土愛の醸成を起点とした市民協働の取組みを実施することができた。</p>		
4	<p>課題</p> <p>市内高校生の十分な参加と市出身の大学生の参加の促進についての具体的な方策、福知山公立大学との連携について方向性を検討する必要がある。</p>		
5	<p>H30 年度以降の予定</p> <p>継続して実施するとともに、福知山公立大学と高等学校の連携強化を図る。</p>		
担当課による評価	C (効果があった)		
評価をつけた理由	高校生から 70 代 (参加者 59 名) までの異世代間交流を図ることができた。また、郷土愛の醸成や次世代の人材育成として位置づけ、継続実施することができた。		

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」													
事業名	「知の拠点」整備構想策定事業												
担当課	市長公室 大学政策課												
予算額	10,550 千円												
1 事業の背景・目的	<p>文系の福知山公立大学と理系の京都工芸繊維大学福知山キャンパスを北近畿地域の地方創生を牽引する「知の拠点」と位置づけ、「知の拠点」づくりを推進するための整備方針となる「知の拠点」整備構想を策定し、地域を担う地域人材の育成、若者の定着、産業振興、地域活性化に繋げることを目的とする。</p>												
2 事業の内容	<p>北近畿地域の「知の拠点」づくりを推進するため、両大学の教育研究環境の充実に向けた将来ビジョンについて外部有識者による「知の拠点」整備構想検討委員会を設置し、「知の拠点」整備構想を策定する。</p>												
決算額	<table border="0"> <tr> <td>報酬</td> <td>270,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>243,900 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>3,110,572 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付金</td> <td>7,000,000 円</td> <td style="text-align: right;">計 10,624,472 円</td> </tr> </table>	報酬	270,000 円		旅費	243,900 円		委託料	3,110,572 円		交付金	7,000,000 円	計 10,624,472 円
報酬	270,000 円												
旅費	243,900 円												
委託料	3,110,572 円												
交付金	7,000,000 円	計 10,624,472 円											
K P I	<p>(目標) 圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒ (結果) 887,697 千円</p> <p>(目標) 移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒ (結果) 43 人</p> <p>(目標) 人口社会増 -120 人 ⇒ (結果) -213 人</p> <p>(目標) 企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒ (結果) 8 人</p>												
3 事業の成果	<p>「知の拠点」づくりを推進するための整備方針である「知の拠点」整備構想を策定することができた。</p>												
4 課題	<p>特になし。</p>												
5 H30 年度以降の予定	<p>「知の拠点」整備構想の実現に向けて、既存学部である地域経営学部の充実に図るとともに、2020 年度を目途に新学部として（仮称）情報学部を設置し、2 学部体制とする。</p> <p>また、公立大学法人福知山公立大学中期目標に基づき、同じく 2020 年度を目途に入学定員 200 人の実現を図る。</p> <p>※平成 30 年度から事業名を「『知の拠点』推進事業」に変更して実施する。</p>												
担当課による評価	B（相当程度効果があった）												
評価をつけた理由	<p>「知の拠点」整備構想を策定したことにより、福知山公立大学、京都工芸繊維大学福知山キャンパスを北近畿地域の地方創生の中核として、3 市のあらゆる主体が連携し、「地域人材の育成」、「若者の定着」、「産学官連携による産業活性化とローカルイノベーションの創出」に向けて圏域全体で様々な事業を展開することが可能となるため。</p>												

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	福知山産業支援事業
担当課	産業政策部 産業観光課
予算額	30,744 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>新たな産業支援事業として起業を志す人や、経営上の課題を抱える中小企業等のあらゆる問題の解決と売上向上に向けたビジネスの挑戦を事業者の目線に立って一緒になってチャレンジするための拠点として福知山産業支援センターを開設し、これを核とした地域の活性化に向け全力で取り組む。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>相談業務を中心とした支援を行う福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」においてあらゆる業種の事業所の相談に対応する。福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」の運營業務については、一般社団法人福知山産業支援機構へ業務委託をする。</p>	
決算額	<ul style="list-style-type: none"> ・委託金：20,252,134 円 ・備品購入費：1,463,400 円 ・旅費：581,710 円 ・役務費：295,033 円 ・需用費：222,700 円 ・使用料及び賃借料：83,720 円 ・公課費：92,635 円 <p style="text-align: right;">計 22,991,332 円</p>
K P I	<p>(目標) 圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒ (結果) 887,697 千円</p> <p>(目標) 移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒ (結果) 43 人</p> <p>(目標) 人口社会増 -120 人 ⇒ (結果) -213 人</p> <p>(目標) 企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒ (結果) 8 人</p>
<p>3 事業の成果</p> <p>相談件数については、1月16日から3月末までに95事業者から合計235件の相談を受けており、当初の目標としていた30件/月を大きく上回る件数となっており、その内約6割はリピーターとして複数回相談に来られている。</p> <p>4 課題</p> <p>今後、福知山産業支援センター「ドッコイセ！biz」の認知度をあげることで、新規相談者を増やし成功事例を増やしていくことが必要である。そのためにも、ホームページやSNS等で積極的に情報を発信していくことが必要である。</p> <p>5 H30年度以降の予定</p> <p>事業者及び創業者をターゲットとしたセミナーの開催や、専門アドバイザーを非常勤で配置することで専門分野の相談案件にも対応していく。</p>	
担当課による評価	B (相当程度効果があった)
評価をつけた理由	相談件数も当初目標の約3倍受け付けており、販路拡大や新商品開発の成功事例も出てきているため。

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	福知山アーティスト・イン・レジデンス事業
担当課	地域振興部 文化・スポーツ振興課
予算額	544 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>地域の人々が主体となって芸術文化活動に関わる環境づくりを促進し、地域持つポテンシャル・魅力をアートの視点から引き出すことにより、交流人口の拡大、地域の活性化を期待する取組みとしてアーティスト・イン・レジデンス事業を実施する。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>京都 Re:search 実行委員会（事務局：京都府）を立ち上げ、地域アートマネージャー（中丹広域振興局）を中心に公募したアーティスト 6 名、文化協力員、地域住民と交流し、福知山市の風土や歴史等を調査し、そこでの発見を活かしたプロジェクトや作品プランの構想を立てた。</p>	
決算額	<p>旅 費 14,240 円（職員実行委員会旅費）</p> <p>負担金補助及び交付金 500,000 円（実行委員会負担金）</p> <p style="text-align: right;">計 514,240 円</p>
K P I	<p>（目標）圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒（結果）887,697 千円</p> <p>（目標）移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒（結果）43 人</p> <p>（目標）人口社会増 -120 人 ⇒（結果）-213 人</p> <p>（目標）企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒（結果）8 人</p>
<p>3 事業の成果</p> <p>アーティストの宿泊施設周辺地域及び調査に回った地域の方々等との交流を通して、一部ではあるが地域の文化に対する人の動きが生まれた。今回参加のアーティスト 6 人 6 様の発想に、関わった方たちが見落としていたことや新しい視点に気づくことが出来た。</p> <p>4 課題</p> <p>成果を踏まえた制作発表へと繋げるため、さらに地元アーティストや地域住民との交流を深め、地域の人々がアートに触れ、楽しむ機会を増やすとともに地域が本来持ち得ているポテンシャルやその魅力をアートの視点から引き出すことで文化を活かしたまちづくりの実現を図る。</p> <p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>今回参加したアーティスト 6 人の中から 2 人選抜し、今年度リサーチした内容をさらに掘り起こした作品制作にあたる。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	6 人 6 様の福知山を題材としたすばらしい作品が出来上がったが、市民への情報発信の面において十分でなく課題があった。

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	中丹式インターンシップ事業
担当課	市長公室 経営戦略課
予算額	308 千円
1 事業の背景・目的	<p>中丹地域へのU I J ターン就職を選択肢に入れている大学生と、優秀な人材確保を希望する地元企業に対して効果的なインターンシップメニューを提供することで、地元企業への大学生就職を促進し、大学生のU I J ターン就職者数を増加させる。</p>
2 事業の内容	<p>中丹地域にU I J ターン就職を希望する大学生に対し、職業体験に加え、宿泊、生活体験を組み合わせた中丹圏域における総合的なコーディネートによる新たなインターンシップ制度を京都府及び中丹地域3市の協調により実施する。各市においては大学生の宿泊費相当分を負担する。</p> <p>また、福知山公立大学とも連携し、中丹地域に就職を希望する学生についても支援を行う。</p>
決算額	<p>負担金 214,500 円（内訳：学生の宿泊費）</p> <p style="text-align: right;">計 214,500 円</p>
K P I	<p>（目標）圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒（結果）887,697 千円</p> <p>（目標）移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒（結果）43 人</p> <p>（目標）人口社会増 -120 人 ⇒（結果）-213 人</p> <p>（目標）企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒（結果）8 人</p>
3 事業の成果	<p>都市圏の学生に対し、中丹地域で働く選択肢を示せたことが良かった。</p> <p>また、本制度を利用し2人が就職に至った。</p>
4 課題	<p>都市圏の学生に対し、京都府北部地域という広い圏域で行う方がPR効果があるのではないか。</p> <p>雇用を重点に置くか、I ターンなどの移住の施策かはっきりしない。</p>
5 H30 年度以降の予定	<p>京都府との協議の結果、府が主導する中丹地域への大学生就職の就職促進策としては、インターンシップではなく保護者向けの就職説明会など他の手段による方が効果的と判断し、平成30年度からは実施しないこととした。</p>
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	<p>本制度の利用で2人が就職に至ったことにより効果があったと評価した。</p>

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	地域づくり人材育成事業（夜久野支所）
担当課	地域振興部 夜久野支所
予算額	334 千円
1 事業の背景・目的	地域の課題解決に向け、住民が主体となって夜久野のめざす将来像を実現するため、一般財団法人地域活性化センター主催の「地方成功人材のマッチングによる土日集中セミナー」を受講する。
2 事業の内容	「地方成功人材のマッチングによる土日集中セミナー」は地域の価値・課題解決のためのヒントを伝授することを目的としたセミナーであり、地域の課題解決や地域活性化をめざした活動を積極的に取り組んでる「夜久野みらいまちづくり協議会」の会員に受講していただくための旅費及び参加負担金を負担する。
決算額	旅 費 173,120 円（内訳：交通費・日当・宿泊費 43,280 円×4 人〔東京〕） 負担金 60,000 円（内訳：参加負担金 15,000 円×4 回） 計 233,120 円
K P I	（目標）圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒（結果）887,697 千円 （目標）移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒（結果）43 人 （目標）人口社会増 -120 人 ⇒（結果）-213 人 （目標）企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒（結果）8 人
3 事業の成果	① 第9回「地域経済を見る眼とその手法 ～RE S A S等を用いて～」 平成29年12月9日（土）～平成29年12月10日（日） 2人受講 ② 第11回「やねだん東京塾 ～一步踏み出す行動の秘訣～」 平成30年1月27日（土）～平成30年1月28日（日） 2人受講 ③ 平成30年2月22日に福知山市で開催された「人材育成に関する連携協定締結記念事業」地域づくり人材の育成強化及び地域活性化の推進に向けた研究成果発表会資料として土日集中セミナー参加報告書を配布し、広く報告ができた。
4 課題	一般社団法人地域活性化センターと福知山市が、人材育成に関する連携協定を締結したことにより、さらに多くの方々（市民・市職員）が研修に参加して人材を育成し、地域づくりを進める必要がある。
5 H30 年度以降の予定	平成30年度から予算計上をしていないが、市から開催日時・内容等の情報提供を行い「夜久野みらいまちづくり協議会」が地域づくり組織支援事業交付金を活用していただき、積極的に参加していただく。
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	自己能力の向上、協議会活動などの取り組みの中へ学んだことを共有し、次年度に向けた活動に繋がっていくと評価した。

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	地域づくり人材育成事業（大江支所）
担当課	地域振興部 大江支所
予算額	691 千円
1 事業の背景・目的	地域の課題解決に向け、住民が主体となって大江の目指す将来像を実現するため、地域リーダーとなる人材の育成を目的とする。
2 事業の内容	市民が、地域リーダーとなる人材育成の場として一般社団法人地域活性化センターが主催する「全国地域リーダー養成塾」に参加するための旅費、負担金を交付する。
決算額	旅費 537,710 円（内訳：交通費・日当・宿泊費 参加旅費） 負担金 18,720 円（内訳：研修会参加者負担金） <div style="text-align: right;">計 556,430 円</div>
K P I	（目標）圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒（結果）887,697 千円 （目標）移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒（結果）43 人 （目標）人口社会増 -120 人 ⇒（結果）-213 人 （目標）企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒（結果）8 人
3 事業の成果	受講者は、地域リーダー養成塾の受講により、地域リーダーとしての見聞、資質を深め、他市参加者との交流により人的ネットワークを築くことができた。 受講者は、受講経験を活かし、地域活動に積極的に携わっている。
4 課題	受講者が研修により取得した地域づくりの知識と他市参加者とのネットワークを活用し、地域活動において、自らが牽引役となり、地域イベント、会議等に積極的に参加し、地域リーダーとなる人材の発掘、育成の取組みが必要とされる。
5 H30 年度以降の予定	平成 30 年度から支所として予算計上をしていないが、受講者においては、「大江まちづくり住民協議会」と連携を取り、積極的に地域活動に参加し、若手地域リーダーの発掘を進める。
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	受講者が本事業により地域リーダーとしての見聞、資質を深め、学んだことを地域活動に活かすことにより、若手地域リーダー育成に繋がっていくと評価した。

H29 地方創生推進交付金「福知山市・丹波市・朝来市 定住生活圏域創生人材・産業育成事業」	
事業名	福知山PR総合戦略推進事業
担当課	市長公室秘書広報課
予算額	16,700 千円
1 事業の背景・目的	<p>福知山市を取り巻く現在の状況や情報をパブリックリレーションズの手法を活用してターゲットを定めメディアリレーションなどを通して市のメッセージを届ける。関係人口の拡大により、本市の活動に対する共感や具体的な行動を起こしてもらう人を増やし、市と良好な関係を築く。</p>
2 事業の内容	<p>市民参加型でのブランドメッセージの作成・決定。プロモーション動画作成。観光・移住プロモーション用のポスター作成。階層別PR職員研修</p>
決算額	<p>報償費 15,000 円 旅費 162,240 円 需用費 691,988 円 委託料 16,130,880 円 計 17,000,108 円</p>
KPI	<p>(目標) 圏域内観光主要施設売り上げ額 1,050,000 千円 ⇒ (結果) 887,697 千円 (目標) 移住支援制度を利用し転入した人の数 20 人 ⇒ (結果) 43 人 (目標) 人口社会増 -120 人 ⇒ (結果) -213 人 (目標) 企業支援制度を利用して起業した人の数 15 人 ⇒ (結果) 8 人</p>
3 事業の成果	<p>市の観光イベント等メディアリレーション活動に対するメディア獲得回数 107 回。 プレスリリース配信によるメディア露出による広告換算額 233,597 千円 ブランドメッセージ「いがいと福知山」決定。職員のPRに対する認識と理解</p>
4 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション動画やブランドメッセージ作成が目的ではなく、さらなる情報発信と市の活動をより多くの人に伝えるかが課題。 ・広告換算額の他に、市のプロモーション活動により市政に対する市民や市外の方の評価手法が課題。 ・市民のシビックプライドをいかに醸成していくかが課題。
5 H30 年度以降の予定	<p>平成 30 年 4 月には 2020 大河ドラマの主人公に明智光秀が決定されるなど、明るい話題を生かした、明智光秀ゆかりのまち福知山というキーワードを中心にPR戦略を構築実施していく予定</p>
担当課による評価	B (相当程度効果があった)
評価をつけた理由	<p>市民参加型で市のブランドメッセージ「いがいと福知山」が決定。市の方向性を定めた上でPRコンテンツを作成した。またメディアリリース配信活動による広告換算値 233,597 千円であったため。インスタホットキャンペーン投稿 2,749 件 (H30.6 月)</p>

No.30

H29 推進交付金「今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業」	
事業名	「森の京都」DMO事業
担当課	地域振興部 産業観光課
予算額	10,100 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>大江山や芦生の森、美山かやぶきの里を有する京都府中部地域（亀岡市、南丹市、京丹波町、福知山市、綾部市、京都市右京区京北）において、生命と文化を育んできた「森」を多面的な角度からとらえ、豊かな自然と文化に触れ、活かし、未来に受け継げるよう林業の活性化や森の文化の発信などをおして観光地域づくりを推進し地域活性化を図るため、一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）を組織・運営。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）に対する自治体負担金</p>	
決算額	負担金 10,100,000 円 [一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）への負担金] <div style="text-align: right;">10,100,000 円</div>
K P I	（目標）観光消費額 2,038,500 千円 ⇒（結果）1,936,377 千円
<p>事業の成果</p> <p>エリア全体で観光による集客力を底上げするための施策を展開</p> <p>[H29 主要事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング調査（WEB 調査・動向調査） ・ 旅行商品開発・販売 ・ 特産品開発・ブランド化・販売促進 ・ 人材育成 等 <p>4 課題</p> <p>福知山市としての事業に対する費用対効果も明確化。</p> <p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>引き続き、一般社団法人森の京都地域振興社（森の京都DMO）と連携し、観光誘客を図る。</p>	
担当課による評価	B（相当程度効果があった）
評価をつけた理由	森の京都DMOを中心とした広域誘客を図った。

No.32

H29 道整備交付金「北近畿の拠点“福知山”ネットワークを強化する道作り計画」	
事業名	地域間交流促進ネットワーク事業（市道整備）
担当課	土木建設部 道路河川課
予算額	23,402 千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>市内の道路網を整備し、交通の利便性、地域間交流の促進、交流ネットワークの強化と災害時における避難経路の確保、安全・安心な道路環境、観光入込客数の増加を図ることを目的としている。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>地域再生計画に基づき、市道広小路勅使線、上荒河観音寺線、二瀬川大江山線、小倉線、土師新町24号線、天王線、下天津大呂線、岡ノ木線、笹場小野線、川北荒木線交差点について、道路改良等の事業を実施する。</p>	
決算額	<p>工事請負費</p> <p>広小路勅使線道路舗装改良工事 L=477m 23,184,360 円</p> <p style="text-align: right;">計 23,184,360 円</p>
K P I	<p>（目標）観光入込客数 834,849 人 ⇒（結果）946,618 人</p> <p>（目標）森林整備施業面積 405.1ha ⇒（結果）400ha（見込値）</p>
<p>3 事業の成果</p> <p>計画に沿って主要な観光地に至る市道の整備を行ったことにより、自動車や観光バス等の交通の円滑化を図ることができ、観光入込客数が増加し、KPI の年度計画を達成することができた。</p> <p>4 課題</p> <p>引き続き、地域再生計画に基づいて、整備区間の延伸、他路線の整備を進めることで、一層の誘客効果が見込まれる。</p> <p>5 H30 年度以降の予定</p> <p>地域再生計画に基づき、市道広小路勅使線外 7 路線の工事、測量調査に着手する予定である。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	舗装改良を行うことにより、スムーズな走行が出来るようになったため、効果があったと評価した。

No.31

拠点整備交付金「北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業」	
事業名	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業（北近畿『知』の拠点プラットフォーム事業、まちかどキャンパス事業）
担当課	市長公室 大学政策課
予算額	84,500千円
<p>1 事業の背景・目的</p> <p>福知山公立大学が北近畿地域における様々な課題解決に向けたシンクタンク機能を発揮するとともに、市民の「知の拠点」の役割を果たすことを目的として、地域連携・地域協働を推進するための取組を支援する。</p> <p>2 事業の内容</p> <p>福知山公立大学が北近畿地域の住民、企業、各種団体等との連携・協働の活動拠点として様々な機能を発揮するよう、大学の施設改修（図書館、駐輪場整備）及びICT環境の充実強化に向けた取組を支援する。</p> <p>また、「地域に根ざし、地域住民に見える大学づくり」を推進する一環として、旧市街地の空き店舗を改修して、市民聴講を含む大学講義や市民講座等を実施するための「まちかどキャンパス」整備に係る取組を支援する。</p>	
決算額	交付金 84,500,000円 <div style="text-align: right;">計 84,500,000円</div>
KPI	（目標）プラットフォーム施設利用者数 30人 （目標）プロジェクトの新商品等の開発件数 1件 （目標）府県を越えた自治体連携事業数 1件 （目標）まちかどキャンパス利用者数 30人 （目標）住民連携取組事例数 1件 （目標）まちかどキャンパス事業を利用した新たな起業者数 1人
<p>3 事業の成果</p> <p>大学施設改修工事、まちかどキャンパス整備工事を完了することができた。</p> <p>4 課題</p> <p>特になし。</p> <p>5 H30年度以降の予定</p> <p>大学図書館、まちかどキャンパスを多くの方に利用いただけるよう、北近畿地域の住民、行政機関、教育機関、各種団体等に積極的に周知し、利用促進を図る。</p>	
担当課による評価	C（効果があった）
評価をつけた理由	福知山公立大学図書館等の施設改修及びICT環境の整備を行ったにより、様々な主体と連携・協働する活動拠点としての機能を強化できたことや福知山公立大学、京都工芸繊維大学の連携拠点となる「まちかどキャンパス吹風舎」を整備したことにより、シャッター街であった旧市街地に賑わいを創出することができたため。

目標年月H31.3のため、実績値なし

